

主な研究業績

種類	著書/論文/論題名	掲載誌巻号/ 発行者/学会名	発表 年月	備考/ 執筆ページ
著書				
単著	リンパ浮腫	根拠がわかる 疾患別看護過程（改訂第3版）/南江堂	2021年9月	pp90-103
共著	Ⅱ型糖尿病がある胃がん患者の看護過程	複数疾患をもつ患者の実践看護過程/GAKKEN	2017年12月	pp147-169
共著	第4章2 チャートで見る疾患別のアセスメント⑥化学療法中	まるごとやりなおしのフィジカルアセスメント/メディカ出版	2015年10月	pp194-197
共著	Ⅳ-2成人看護学実習・急性期看護学実習	臨床実習指導ナビゲータ：はじめて臨床実習指導をする人のために/ユリシス出版	2013年7月	pp96-140
共著	チャートで見る疾患別のアセスメント	やりなおしのフィジカルアセスメント/メディカ出版	2008年9月	pp136-139
共著	第一章 皮内注射、皮下注射、筋肉注射	新人ナースのためのもっとうなくなる注射・輸液・輸血テクニック/メディカ出版	2005年12月	pp17-42
論文				
単著	がん治療に伴う続発性リンパ浮腫の予防と悪化防止に関する看護の変革を目指したアクションリサーチ	神戸市看護大学大学院 博士論文	2018年3月	
単著	外来科学療法を受けている乳房切除術後患者のTransition	高知女子大学看護学研究科修士論文	2003年3月	
共著	アクションリサーチによるがん治療に伴う続発性リンパ浮腫の予防と悪化防止に関する看護実践の課題と解決課程	インターナショナルNursing care research,18(3)	2019年11月	pp41-50
共著	「手」を用いる看護技術の重要性を改めて問う 女性の下肢の「むくみ」と用手リンパドレナージの効果に関する研究を通して	看護研究、52（4）	2019年9月	pp308-311
共著	Experimental Pilot Study of Impedance and Circumference of the lower Extremities: Comparison Before and After Manual Lymphatic Drainage in Healthy Japanese Women	インターナショナルNursing care research、18（2）	2019年5月	pp11-22
共著	看護師の就労後に生じる下肢浮腫に対する臥床と用手リンパドレナージでの下肢周囲径変化の比較	熊本大学医学部保健学科紀要、15	2019年3月	pp13-21
共著	診断期から治療期における肺がん患者の苦痛とその対処行動の実態	インターナショナルNursing care resarch,14(1)	2015年4月	
共著	手指消毒剤の使用に関する看護師の認識と行動 感染予防教育の検討	インターナショナルNursing care research,13(4)	2014年11月	pp135-142
共著	Asia-Pasific nursing scholarship development: Qualitative exploration of nurse scholars in Taiwan	J clini Nurs,19	2010年6月	pp.2601-2010
共著	頸部下ドーム型サウナ使用時の高齢者の整理・心理反応	日本循環器看護学会誌、5（1）	2009年9月	pp43-51
共著	蜂窩織炎を契機に発症した二次性リンパ浮腫患者に対する複合的理学療法に基づく介入プログラムの効果	福岡医学雑誌、100（6）	2009年6月	pp235-241
共著	Nursing scholarship in Japan: development facilitators and barriers	Nursing and Health Sciences、11(2)	2009年6月	pp166-173
共著	Comparison of body fluid levels between patients with chronic schizophrenia and healthy individuals in Japan.	Nursing and Health Sciences、9(3)	2007年9月	pp177-184
共著	乳がん術後のリンパ浮腫患者に行った複合的理学療法の効果	山口医学、56（1）	2007年2月	PP11-14

共著	Issues and challenges in nursing and nursing education in Japan.	Nurse Education in Practice,8(1)	2007年1月	pp1-4
共著	外来化学療法を受けている乳房切除術後患者のTransitionの過程における不安定さの知覚と対処行動のかかわり	高知女子大学看護学会誌、30 (2)	2005年6月	pp32-43
共著	小規模病院における看護師の職務ストレス認知に影響を与える因子の検討	医学と生物学、148 (4)	2004年4月	pp14-21
共著	Transition (移行) の過程における不安定さを認識する時期と看護介入	外来看護新時代、10 (2)	2004年1月	pp49-54
共著	当院人間ドックにおけるヘリコバクター・ピロリ菌陽性者について	日本人間ドック学会誌12 (2)	1997	pp137-139
学会発表				
単著	外来化学療法を受けている乳房切除術後患者のTransition の過程における不安定さの知覚と対処行動	第18回日本がん看護学会学術集会、東京	2004年1月	
共著	がん治療に伴う続発性リンパ浮腫に関して看護師が抱える課題と思いの実際	第40回日本看護研究学会学術集会、奈良	2014年8月	
共著	がん患者が抱える苦痛について 患者の意識調査より	第27回日本がん看護学会学術集会、金沢	2013年2月	
共著	生体肝移植のレシピエントとドナーの周手術期における交流の実態とその相互作用	第31回日本看護科学学会学術集会、高知	2011年12月	
共著	The efficacy of program Based on Physiotherapy for cancer survivors with lymphedema at an outpatient setting in Japan	16th International Conference on Cancer Nursing	2010年3月	
共著	The outcomes of Complex Decongestive Physiotherapy for a patient with arm lymphedema	10th Annual National/International Evidence-based Practice Conference Translating Research into best Practice with Vulnerable Populations Innovations in Evidence-based Practice, USA	2009年2月	
共著	リンパ浮腫患者に対する複合的理学療法を基盤とした外来で行うプログラムの効果	第28回日本看護科学学会学術集会、福岡	2008年12月	
共著	The outcomes of Complex Decongestive Physiotherapy for a patient with leg lymphedema	Internatiol Conference on New Frontiers in Primary Health Care:Role of Nursing and other Professionals,Chang Mai, Thai Land	2008年2月	
共著	The first chapter of STTI in Japan: management and activities	The 39th Biennial Convention, Baltimore, USA	2007年11月	
共著	地域在住の高齢者の「閉じこもり」の現状と要因	第106回山口大学医学会学術講演会ならびに総会	2006年7月	
共著	手術や化学療法でボディイメージの変容ときたした乳がん患者のQOL改善看護介入の検討	第20回日本がん看護学会学術集会、福岡	2006年2月	
共著	Perceptions and coping behaviors of patients during the transition period from time of diagnosis to receiving chemotherapy in the outpatient setting	The third Pan-Pacific Nursing Conference and The fifth Hong Kong Nursing Symposium on Cancer Care, Hong Kong	2005年11月	
共著	Japanese nurses' perspective toward patient's and the family's participation in health care decision making	The International Council of Nurses, Taipei,Taiwan	2004年5月	
その他				
単著	がん患者へのケアとエビデンス：リンパ浮腫	がん看護 (2012年1・2月増刊号)	2012年1月	pp253-257

単著	看護行為別にみた速乾性手指消毒剤の使用実態	日本看護学会論文集、43	2010年11月	pp87-90
単著	解剖生理と病態生理がつながる！疾患別看護過程 ネフローゼ症候群	ブチナース、19 (13)	2010年11月	pp35-50
単著	ケアの根拠を確かめよう 体位ドレナージは有効な看護技術なのか	ナーシング・トゥデイ、20 (10)	2005年9月	pp43
共著	学際的な看護管理学の教育を目指して－熊本県立大学大学院アドミニストレーション研究科の現状と将来構想－	看護管理31(2)/医学書院	2021年2月	pp142-144
共著	10th Annual National/International Evidence-based Practice Conference 参加報告	インターナショナル・ナーシング・レビュー、33 (2)	2010年4月	pp89-91
共著	病棟スタッフの倫理的感性を磨く効果的な教育方法	ナースマネージャー、11 (12)	2010年3月	pp17-21
共著	糖尿病患者の自己効力感に関する要因とQOL	日本看護学会論文集	2008年2月	pp320-322
共著	大学生の生活習慣病に関する知識と予防行動の実態	日本看護学会論文集	2008年2月	pp272-274
共著	呼吸管理を目的とした体位変換と体位ドレナージ	看護技術、51 (11)	2005年11月	pp1-5